

夏休みの思い出

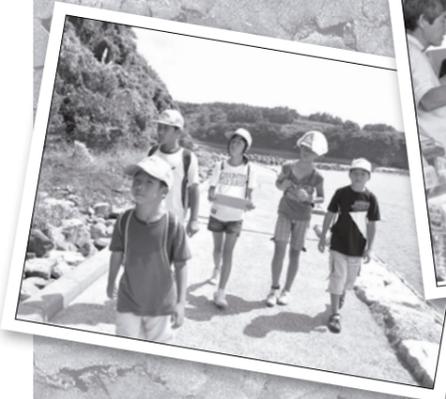
楽しく体験、あふれる笑顔

須恵町では平成24年度から「子どもの社会力育成塾」を行なっています。

この塾には、小学校4年生から中学生までの男女13人が参加。環境保全をテーマに1年間を通してさまざまな学習や体験活動をしていきます。

8月6日(月)から8月8日(水)にかけて、「人と水の出会いを楽しもう」というテーマのもと、大分県立香々地青少年の家で2泊3日の自然体験学習(宿泊研修)を行いました。

子どもたちは、いかだ体験などさまざまな自然体験学習を経験し、多くの事を学び成長できました。また、研修中には常に笑顔があふれ、楽しい夏休みの思い出が一つ増えました。



昔の人たちと重なる気分

8月18日(土)、歴史民俗資料館で「第1回夏休み体験学習」が行われました。

レコードコンサートでは、蓄音機から出る音色に大人たちは懐かしさを感じながら聞いていました。

勾玉作り体験では、縄文時代から古墳時代にかけて作られた古代のアクセサリ、勾玉を作成しました。硬度1の柔らかい石(滑石)に型を取り、やすりで削り、光沢を出し、最後にひもを付けて完成。完成したアクセサリを首からかけると古代の気分になりました。



力を合わせて引っ張りました

8月15日(水)、新原区、須恵区の伝統行事、盆綱引きが行われました。

●盆綱引きとは?

8月15日に行われる行事で、須恵町では新原区と須恵区の2行政区に残っている行事です。わらやかづらなどを使って、長さ20m、直径15cmほどの盆綱を編みます。綱引きをして綱を切ります。「子どもの健康を願う」、「先祖の霊を慰める」ために行われます。

▶**新原区** 明治時代から始まったといわれ、現在では青年部を中心に行われています。

▶**須恵区** 十数年途絶えていた期間がありましたが、30年から40年ほど前に新原区をお手本に復活し、子供会育成会を中心に行われています。



はがきなどを送って、カンボジア地雷撤去支援を

10月末まで

(財)カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)は、集まったはがきなどを換金し、命がけの撤去活動が続ける地雷撤去団体や被害者のいる病院に寄付しています。

カンボジアにはいまだに600万個もの地雷が埋まっており、戦争と関係のない子どもたちまでも手足を奪われ続けています。カンボジアの子どもたちの地雷被害を減らすため、ご支援をお願いします。



○集める支援品

- ・書き損じ、未使用のはがき
 - ・未使用のテレホンカード
 - ・未使用切手、中古CD、DVD
- はがき3枚で1㎡の地雷原を撤去できます

▶**後援** 福岡県教育委員会など

▶**送付先および問合せ先** CMC事務局(古川)
〒814-0002 福岡市早良区西新1丁目7-10-702
<http://cmc-net.jp> ☎833-7575